

# 学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立川之石高等学校

学校番号 36

評 価 実 施 日		令和6年2月22日（木）	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	村 井 泰 之	地域代表	
	池 田 悦 子	保護者代表 P T A 副会長	
	行 天 雅 史	保護者代表 P T A 副会長	
	國 安 泰 次	学校評議員 川之石地区公民館長	
	山 本 豊	八幡浜市立保内中学校 教頭	
	徳 田 球 貴	伊方町立伊方中学校 教頭	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学校経営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスも5類へ移行し、様々な活動や行事が再開し、実施できることは生徒にとっても良いことだと思う。</li> <li>・地域や企業との連携など、生徒の学習活動意欲の増進が認められます。</li> </ul> <p>(2) 教科指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学(4年制大学)を目指す生徒が少ないので、家庭学習時間が少なくなっているのは仕方ないことだと思います。普通科高校のような家庭学習を望むのではなく、川高生にあった内容を生徒に提案してはどうか。</li> <li>・生徒が社会人になった際に自ら情報発信できるように、今後もICT機器を活用した学習指導方法の改善に努めて欲しい。</li> </ul> <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭髪に関する規程については八幡浜地区の規定に沿ったものということですが、保護者の意見もあり時代の変化に応じて検討を考える面もあると思います。</li> </ul> <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後の社会生活を送るために必要な自立心を育てていただけるとありがたいです。特別活動での教育が一番有効だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用し、各教科、各課と連携しながら、様々な学校行事を展開し、生徒の活動を充実させていきます。</li> <li>・本校の教育資源を活用して、積極的に地域や企業と連携を図った教育活動を進めていきます。</li> <li>・各教科で相談をしながら、課題等を出したいと思います。家庭学習時間についても少しでも増えるよう、声掛けを行っていきます。</li> <li>・教員のICT活用のスキルアップを図り、1人1台端末を有効に活用していきます。</li> <li>・今後も生徒の意見は生徒総会などを通して、保護者の意見は保護者懇談会などを通してお聞きし、検討が必要な点があれば検討していきたいと考えます。</li> <li>・他者からの指示で行動するのではなく、自身が考え、自ら行動するために目標を持って取り組めるような機会を作れるようにしていきたいと考えます。</li> </ul>

<p>(5) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的なコミュニケーションの機会を増やし、面接時の作法や応答を磨いてほしい。</li> <li>・資格取得への教育環境や生徒や保護者へ役に立つ情報提供をお願いしたい。</li> <li>・近年、3年未満の離就職率が増えていますが、時代の流れではないかと思う反面、辛抱する継続することを学んでほしいと思います。個にあった進路指導をお願いします。</li> </ul> <p>(6) 人権・同和教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の子供達は、精神的に問題を抱える子が多い気がします。将来、社会に出てからうまく人間関係を形成していくためにも悩みを抱えている生徒に対するサポートは少しでも整えてほしい。</li> </ul> <p>(7) 情報・図書・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT教育の充実が図られている。</li> <li>・生徒の読書への誘いについて、方法を検討してほしい。</li> </ul> <p>2 評価の説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題なし</li> </ul> <p>3 学校運営全般への要望・提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物理的環境整備も必要ですが、3校統合も迫っており、今は先ず「人の和」が優先されるのではないのでしょうか。先生方相互の信頼関係の構築による教育活動の共通理解と実践に力を注いでほしい。教職員間・教職員と生徒との明るく元気な挨拶、一人一人への声掛け、問題の共有・解決への協力体制の強化に務めていただきたい。</li> <li>・保護者の教育への熱が冷めていると感じます。配布物に目を通さないのは動画等のネットの影響もあるかと思っています。そういう時代へ学校も対応していく必要もあるかと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活全般を通じた挨拶や返事など基本的な事柄について、面接にも役立つことを学ぶ機会をとらえるよう、生徒への意識付けをしたいと考えます。</li> <li>・就職については就職周旋説明会を開催して、就職状況の御理解をいただいておりますが、進学についても更なる情報提供する機会を設けたいと考えます。</li> <li>・卒業生の早期離職については、重大な課題として取り組んでいます。地域の企業に協力いただいている合同企業説明会や本校卒業生の若手社員との交流活動などを通して、企業とのミスマッチを減らすことを目指しています。</li> <li>・アンケートを実施し、生徒の悩みの把握と面談を今後も継続するとともに、スクールライフアドバイザーによる教育相談体制の充実を図りたい。</li> <li>・授業において生徒が本を借り、読書をするような活動を組み込めるよう考えていきます。</li> <li>・振興計画に伴い市内3校が統合していくために、校舎・教育課程・部活動・制服・移動方法など考えていかなければならないことは多々あります。令和8年度入学生を迎えるための新しい高校の在り方について、教職員が情報を共有し、同じ目標達成に向け、今まで以上に一丸となって取り組みたいと考えています。</li> <li>・保護者の方からも応援いただけるよう、配布物や情報の提供方法については、今後も模索していきたいと思えます。</li> </ul>
--	--